

2 精密検査依頼書兼結果報告書【大腸がん検診】 説明書

※当報告書が区市町村に返送された際になどに御利用ください。

※「地域保健・健康増進事業報告」:「健増報告」と表記します。

※「大腸がん検診精密検査結果報告書(東京都統一様式)」と「地域保健・健康増進事業報告集計表」との対照表:「対照表」と表記します。

① 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇/〇

区 大腸がん検診 精密検査依頼書 兼 結果報告書

大腸がん検診精密検査依頼書
 区保健所
 担当医師

年月日

★返送先2か所以上
 の場合、追記可です。

下記の方は●●●●●大腸がん検診の結果、要精密検査となりましたので、健増報告の上、宜しく御指導をお願い申し上げます。

氏名・性別	検診日	年 月 日
生年月日	検診機関名	
項目名 疾患		

◆記入内容にあわせて項目名を変更してください。

★住所・住民番号等の記入欄として使用できます。

精密検査結果(貴院記入用) 精密検査結果について御記入の上、御返送くださいますようお願いいたします。

※精密検査結果の区市町村及び区市町村から委託を受けた検診機関への提供は、個人情報保護法の例外事項として認められています(「医療機関等から個人情報を提供を受ける事業者等に対する個人情報保護等の取組基準(通知)」のガイドライン(個人情報保護等委員会)に基づきます。)

※御記入いただいた内容は、区市町村が「地域保健・健康増進事業報告」の集計に計上し、国及び都の地域保健施策のための基礎資料となります。

◆各自治体名に変更可です。

精密検査	<input type="checkbox"/> 全大腸内視鏡検査 <input type="checkbox"/> S状結腸内視鏡検査 及び 注腸X線検査 <input type="checkbox"/> 上記以外(検査法:)	
実施した全ての検査をチェックしてください		
診断区分	① <input type="checkbox"/> 異常なし・大腸以外の疾患 ② <input type="checkbox"/> 大腸がん(<input type="checkbox"/> 粘膜内 <input type="checkbox"/> 粘膜下層 <input type="checkbox"/> 進行がん) ③ <input type="checkbox"/> 大腸がんの疑いのある者又は未確定 ④ <input type="checkbox"/> 腺腫・ポリープ(<input type="checkbox"/> 直径10mm以上 <input type="checkbox"/> 直径10mm未満) ⑤ <input type="checkbox"/> 大腸がん及び腺腫・ポリープ以外の大腸の疾患(転移性の大腸がんを含む)	
判明した全ての病変をチェックしてください		
精密検査時の偶発症 該当する場合のみ チェックしてください	※入院治療を要するものとする(例:腸管出血(輸血や手術を要する程度)、腸管穿孔、前投薬起因性ショック、腹痛等)。 <input type="checkbox"/> あり ⇒ 内容(<input type="checkbox"/> 穿孔 <input type="checkbox"/> 出血 <input type="checkbox"/> その他()	
精密検査実施日	精密検査実施医療機関名	精密検査担当医師名
年 月 日 TEL		

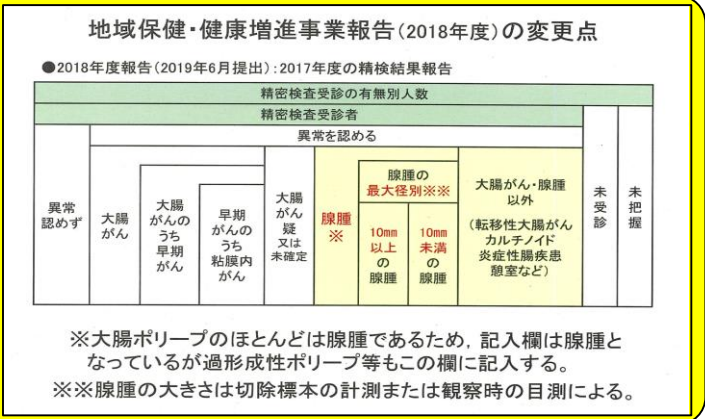
◆大腸がん検診における適切な精密検査方法
 精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査とし、全大腸内視鏡検査を行うことが困難な場合は、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査(二重造影法)の併用による精密検査を実施することとされています(「東京都大腸がん検診の精度管理のための技術的指針(令和元年5月)」より)。

◆大腸がん検診における不適切な精密検査方法
 ・健増報告作成要領(令和2年度分)では、精密検査として不適切な方法は「便潜血検査の再検、CT検査や腫瘍マーカー等」とされています。
 ・そのため、適切な精密検査方法にチェックがなく、「☑上記以外(便潜血検査)」等と記入されている場合、「精密検査未受診」として取り扱うことになります。

○健増報告項目:「異常なし」(対照表項目①)
 健増報告での「異常なし」には、大腸に異常が認められなかった場合に加えて「大腸には病変がない悪性腫瘍(例:胃がん、十二指腸がん、食道がん)」も含まれます。

○健増報告項目:「腺腫のあった者」(対照表項目⑥)
 「直径10mm以上の腺腫のあった者」(対照表項目⑦)
 「直径10mm未満の腺腫のあった者」(対照表項目⑧)
 健増報告での「腺腫」には過形成ポリープ等も含めて計上してください。

【参考】
 ・健増報告作成要領(令和2年度分)
 「大腸がん以外のポリープがあった者すべて(腺腫以外も含む)を計上すること」
 ・右図「令和元年度全国がん検診指導者研修」テキスト(国立がん研究センターがん対策情報センター)P80



○健増報告項目:「大腸がん及び腺腫以外の疾患であった者(転移性の大腸がんを含む)」(対照表項目⑨)
 大腸がん以外の大腸の腫瘍(カルチノイド、リンパ腫、GIST(消化管間質腫瘍))等や大腸の病変(大腸に発生した憩室等)が該当します。